

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	鹿島市立七浦小学校（本校・音成分校）		
2 所在地	鹿島市大字音成戊1563		
3 校長名	永池 守		
4 学級数 児童生徒数	10学級 (内 特別支援学級2 分校2) 159人	5 実施学年 児童生徒数	1年～6年 159人

6 取組のねらい

ユニバーサルデザイン教育を通して、未来を担う子どもたちが、多様な違いや個性を理解し、相手を尊重する意識や思いやりの心をはぐくむため

7 取組の実際

○ 人権集会で『ユニバーサルデザインの劇』（職員によるもの）

「手が不自由な人も使いやすいノート」「外国の人でも分かりやすいマーク」「乗り物の中にある優先席の意味」等について劇にして、子どもたちに考えさせた。この集会を通して、ユニバーサルデザインの精神は『思いやりの心』であることを知らせた。



○ ユニバーサルデザイングッズの紹介・『敬老の日』しおりのプレゼント



敬老会の時、地域のお年寄りにプレゼントしようということで、1～4年生がメッセージ入りのしおりを作成した。お年寄りから、喜びの声が聞かれた。

○ 分校1・2年 生活科『むかし遊びをしよう』

地域のお年寄りの方を招待し、こま回しや竹馬等を楽しんだ。また、畑で作った大根でおでんを作ってもらい、一緒に食べた。



○ 4年『ユニバーサルデザインってなーに?』

嬉野高校の人に来てもらい、ユニバーサルデザインについて『にわか』やパソコンで分かりやすく説明してもらった。また、実際にユニバーサルデザイングッズを使って体験させてもらった。



○ 4年『ユニバーサルグッズを作ろう』

4年生は、出前講座の後、総合的な学習の時間に『ユニバーサルグッズを作ろう』という学習を行った。「ブラインドウォーク」や「高齢者・障害者疑似体験」を行い、どんなところに困り感を持たれているのかを体験を通して学んだ。そこから、どんなものがあれば使いやすいかグッズを考えさせた。

「高齢者・障害者疑似体験」



○ 5年『玉ねぎ販売』

5年生は、自分たちで育てた玉ねぎを収穫し、近くの道の駅で玉ねぎの販売を行った。この活動で、地域の人だけではなく、他の地域の方とも交流することができた。また、収益金の一部を東北大震災の義援金として送った。



8 取組の成果と課題

- 嬉野高校の出前講座を受けたことで、4年生が総合的な学習で『ユニバーサルデザインを考えよう』という活動に発展させ、いろいろな体験活動を実施することができたのでよかった。
- 年度初めに、職員会でユニバーサルデザインに対する取り組みを提案したところ、それぞれの学年で計画的に取り組んでもらえたことがよかった。
- 人権集会で、職員による劇『ユニバーサルデザインとは』を通して、『周りの人を思いやる心』が大切であることを知らせることができた。
- 4年生が体験した『出前授業』や『高齢者・障害者体験』は、年度当初から計画したものではなかった。しかし、やってみて大変よかったので、来年度は総合的な学習で『福祉』の領域を入れて、計画的に進めていければと考えている。